

平成23年12月20日作成

八尾ロボットコンテストジュニア大会の内容について（改定案）

日時：平成24年2月11日（祝・土）10時30分～12時10分（受付10時00分～）

場所：アリオ八尾レッドコート

司会：FMちゃお

参加校：8校、曙川南中学校、南高安中学校、金光八尾中学校、高美中学校、上之島中学校、高安中学校、大正中学校、成法中学校

参加者：リーダー1名、プログラマー1名、エンジニア1名（兼任可）

それぞれサブを置く事ができる。最大6名、最小2名。ただし、顧問は競技中、参加及び助言は不可。

【役割分担】

リーダー：ロボットのセット及び「リトライ」の宣言。

注：リトライとは、ロボットの動きがとれなくなった場合、スタート位置まで戻し、再チャレンジをすること。

プログラマー：走行後、次までに課題を解決する為、プログラムの修正を行うことができる。

エンジニア：ロボットの部品交換や電池交換など行うことができる。

【競技について】

基本は、「ナスカ地上絵」の写真の上に引かれたラインの上を走行するラインレース。通過した場所でポイントが決まっており通過した場所のポイント点で競う。

競技には制限時間（180秒）を設定します。

トーナメント方式で敗者復活戦有り。（敗者戦の勝者は3位とし、3位は3チーム）

競技は、A・Bの2つのコースで1回づつ走りポイントで勝敗を決める。

両者同点の場合、2回目の走行時の早い方を勝者とする。

動かなくなった場合等、「リトライ」を宣言して、各リスタート位置から再スタートすることができる。

【ルール】

- ・ ロボットは、センサーを2つ増設する以外改造は禁止。センサーは合計3つ。
- ・ ロボットに10センチ四方の目印（決まった色）又はデコレーションをつけ、チームが分かるようにすること。
- ・ 競技参加者はゼッケンをつけること。（ゼッケンは本部が用意するもの）
- ・ プログラム変更は、競技場の横に設置した各校割り当てのパソコンから、プログラマーが中心で行う、ただし、選手同士で話し合うのはOK。

【審判】

主審：奈良工業高等専門学校 道下先生 or 工業高等専門学校生

副審：敗者チームから2名。勝者チームから1名（ポイント係2人。タイマー係1人。）

【競技の勝敗について】

1. 基本は、同時スタートで180秒間の2本勝負。(完走し、先に到着した方が勝ち)
2. 1勝1敗になれば、総ポイント数の多い方が勝ち。
3. 両者とも時間内に2回ともゴールできない場合は、総ポイント数で勝敗を決定。
4. 2、3とも同じ場合は、2本目の試合の結果を優先。
5. 1試合目が未完走で同得点の場合、なおかつ180秒の時点で同得点の場合のみ、直近のポイントまでロスタイムをとり、サドンデスゲームとする。

【ポイントについて】

1. (基本ポイント) 得点は、第二ポイント(バーコード)のスタートに着けば10ポイント、第三ポイント(バーコード)に着けば20ポイント、第四ポイント(バーコード)に着けば30ポイント、ゴールに着けば40ポイント獲得する。完走で合計100ポイントになる。ただし、制限時間180秒。
2. (ポイントの重複について)「リトライ」を実行した場合、一度通過したポイントは加算されない。
3. (ポイントの認定について)180秒の時点で各ポイント(バーコード)を認識すれば、ポイントを得ることが出来る。
4. (ポイントの無効について)ラインレースの途中でコースをはみ出し、次のポイントを不通過の場合、その先のポイントを通過しても得点は無効となる。

【時 程】

- 10:00 ~ 受付開始。受付終了後、各校割り当てのパソコンプログラムをインストール。ただし、持込のパソコンも使用可能。
- 10:10 ~ 受付終了後、1台につき、左右のコースで一回ずつ試走可能。試走はA~F中学校の順番で
- 10:30 ~ 開会式 (司会は、FMちゃお)
開会挨拶：マテック八尾ロボット分科会 代表
選手宣誓：第一試合のAのチームのリーダー
- 10:45 ~ 開会式終了後すぐに第一試合の開始 解説：ダイセン電子工業株式会社
実況中継は、FMちゃお。 対戦及びタイムテーブルは、別紙参照。
- 11:57 ~ 決勝戦
- 12:10 ~ 表彰式(賞状5枚 優勝、準優勝、3位、3位、3位)
授賞は、教育委員長又は教育長

【抽選会について】

抽選会は、平成24年1月21日(土)の午後1時30分から行う。代表がくじを引きA~Hの学校を決定する。選手宣誓は、Aの学校のリーダー。